

時間	講 義 項 目
10 : 30) 11 : 40	<p>□ [横浜市立大] データサイエンス学部設立の経緯と教学プラン ～ 市場調査/現場実践力の養成/カリキュラム教員編成 ～ 横浜市立大学 岩崎 学</p> <p>1. 横浜市立大学の現在と未来 (1) 国際都市横浜と横浜市立大学 (2) 世界ランキングに見る横浜市立大学 (3) 横浜市立大学の教育</p> <p>2. データサイエンス学部の概要 (1) データサイエンス学部設立の経緯 (2) データサイエンス学部のカリキュラム (3) データサイエンス学部の入口・出口</p> <p>3. データサイエンス学部のこれから (1) 横浜市および各企業との連携 (2) 世界のデータサイエンス学部の研究・教育と横浜市大の今後の発展</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
11 : 50) 13 : 00	<p>□ [東京工科大] コンピュータサイエンス学部の教学展開 ～ I o T ・ A I 等の I C T 実学への挑戦と実際 ～ 東京工科大学 亀田 弘之</p> <p>1. 東京工科大学コンピュータサイエンスの理念 (1) コンピュータサイエンス学部の理念と課題 (2) PBL ベースソフトウェア教育の実践 (3) タンジブル・ソフトウェア教育プロジェクトの提案・実践とその顛末</p> <p>2. 様々な教授法に基づくソフトウェア教育の設計・実践 (1) learning by creating 型教育の試み (2) Mindstorms を活用したプログラミング教育の実践 (3) ビジネスも視野に入れた PBL 型ソフトウェア教育の実践</p> <p>3. IoT・AI・ビッグデータ時代に求められる新たな人物像とその実践的教育への挑戦 (1) 新たな人物像と選抜者対象プロジェクト実習の立上げ (2) 各種プロジェクト実習の紹介 (3) 21世紀における ICT 実学教育と課題</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14 : 00) 15 : 20	<p>□ [滋賀大] データサイエンス学部の教学展開 ～ビッグデータの処理・分析・価値創造/文理融合型カリキュラムの実際～ 滋賀大学 高田 聖治</p> <p>1. 日本初！ 滋賀大学データサイエンス学部の挑戦 (1) ビッグデータ時代の到来 (2) 滋賀大学データサイエンス学部の誕生 (3) 大学院データサイエンス研究科設立を目指して</p> <p>2. 滋賀大学データサイエンス学部の目指すもの (1) データサイエンティストに必要なスキルとは (2) われわれの目指す育成人材像</p> <p>3. 滋賀大学データサイエンス学部のカリキュラム (1) 滋賀大学のカリキュラム構成 (2) 課題解決型 (PBL) 演習 (3) 文理融合型カリキュラム (4) データサイエンスによる価値創造</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15 : 30) 16 : 50	<p>□ [多摩大] 大学院ビジネスデータサイエンスコースの教学運営 ～「ビジネス」データの分析・活用・管理力/高度経営人材の養成～ 多摩大学 今泉 忠</p> <p>1. 「知」の再武装のために社会人大学院に求められるデータサイエンス (1) どのような課題を解決したいのか (2) 「ビジネス」データの特徴 (3) データを活用すると「経験」は越えられるか？</p> <p>2. AI×ビッグデータでビジネス課題は解決できるか (1) 2カ年パートタイム学生への教育 (2) 分析プロセスの見える化を活用する (3) MBA コースとの協働の必要性</p> <p>3. コースから「～専門」設置へ (1) ビジネスでの T 型人材の育成で十分か (2) 課題解決のための「大局観」×「応用力」 (3) 教学体制の構築とその運営 (4) まとめ</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>